

待機児童の受け入れ

コロナ禍により北海道は全国に先駆けて小・中学校の臨時休校を発表し、札幌市では2月28日から実施されました。急な決定に、子育て中の共働き家庭から多くの戸惑いの声が上がったのは、まだ記憶に新しいところです。

この状況を受け、アウルコートではシフト調整が難しい職員を対象に、小学校3年生以下のお子さんについては勤務時間に合わせて同行出勤で



きる制度をつくりました。以前にもやむを得ない事情のある職員にお子さん連れで出勤してもらった例があり、制度導入はスムーズでした。同行のお子さんには、体温測定やマスク着用など職員と同様の感染症対策を義務付けた上で、相談室を待機用に開放。休校期間中、のべ13名のお子さんが制度を利用しました。



▲入居者が植えたお花を見に来たりりこ(右)とここな

スタッフ リレーエッセー

入社から1年を迎えて

アウルコート真駒内に入社して1年を迎えました。初めは覚えることも仕事量も多く感じました。ときに入居者様や先輩方から指摘、指導を受けることもありましたが、その分多くのアドバイスをいただきました。徐々に慣れてくると、入居者様の笑顔や「ありがとう」の言葉も増え、介護の仕事をしていて良かったと実感しています。



介護職員 富士本 翔

人相手の仕事なので、慣れているのに上手いかないこともあります。失敗も経験として蓄え、より多くの笑顔を入居者様から引き出し、頼れる存在になれるよう、これからも成長していきます!

●介護付有料老人ホーム(一般型特定施設入居者生活介護)

アウルコート真駒内

〒005-0016 札幌市南区真駒内南町4丁目5-3
TEL.011-588-1122 FAX.011-588-1133
入居相談受付中 ☎0120-916-768

- 交通機関
- 地下鉄南北線「真駒内」駅下車
 - じょうつバス「真駒内駅前」停で真駒内線に乗車(約5分)「南町4丁目」停下車(徒歩約4分)

アウルコート真駒内 検索 <http://www.owlcourt.jp>



ふくろらの家 だより

その52
2020年7月

●発行/株式会社私の青い空
●編集/アウルコート真駒内広報室 〒005-0016 札幌市南区真駒内南町4丁目5-3 ☎011-588-1122



コロナと花火

代表取締役 武田 治信

札幌も、木の間を過ぎる涼風にほっとする季節となりました。

今年は新型コロナウイルスの関係で、よさこいソーラン祭りなどの初夏のイベントが軒並み中止となり、夏の風物詩である大通公園のビアガーデンは大幅な規模縮小となりました。札幌での感染動向の推移や経済状況を考えると、このような判断は致し方のないところでしょう。道外では夏の甲子園が中止となり、高校球児の切ない涙が記憶に残る初夏となりました。

アウルコート真駒内では、「新北海道スタイル」を実践する中で、例年とは形を変えて夏祭りを行う予定です。美味しいお祭りメニューに舌鼓を打ちながら、夏を満喫していただきたいと思っています。

花火も夏の風物詩のひとつです。6月1日20

時、全国各地で花火師たちが、コロナの収束を願って、一斉に花火を打ち上げたというニュースに心動かされた方も多かったのではないのでしょうか。花火にまつわるイベントが次々に中止になる中、悪疫退散を祈願し、花火を見上げることで、人々に希望と元気を届けたいという花火師達の気概が込められたものであったと知り、私も胸が熱くなりました。最初の1発目は、医療従事者の方々へ感謝とエールの気持ちを込めたブルーの花火が打ち上げられたそうです。

今回のこの話題をきっかけに、炎は古来神聖なものだとされ、花火は大飢饉や疫病で亡くなった人の魂を慰めたという歴史を知りました。花火を素直に美しいと感じられる夏が戻ってくることを祈らずにはられません。

幾重にも予防策

昨年末に感染が報告された新型コロナウイルス。瞬く間に世界中に広がり、人々の暮らし方を一変させました。高齢者が重篤となる例が多いため、アウ

ルコートは感染予防策を徹底。面会はエントランスのガラス戸越しに制限し、届いた荷物はすべて消毒するなど、外部からの感染経路を断つよう努めています。職員はマスクの着用、ケアごとの手指消毒、体調の自己管理などのほか、勤務外でも不要不急の活動を控え、日々の

行動を自ら記録・管理して万一の濃厚接触に備えています。

館内設備の消毒もこまめに実施。換気については建設時に導入した24時間換気システムが活躍し、館内の空気を常に新鮮な状態に維持。北海道が提唱する「新北海道スタイル」を実践しています。

毎週 寺子屋茶房アウル



▲参加者急増中の楽しい脳トレ

隔週 回想すごろく



▲お題に沿って自身の昔話を披露

4/6 紙芝居



▲モニターで「桃太郎」を鑑賞

4/13、5/27 ホットケーキの日



▶人気メニューを施設長が手作り

4/24 ケーキの日



▶喫茶への外出に代えてカフェ気分

館内レクを多彩に

例年ですと春から外出行事がスタートしますが、外出を控えている今春は、施設内で行うレクリエーションのバリエーションを豊かにすることで、入居者様に毎日楽しく過ごしていただけるよう工夫しています。

毎週の麻雀やトランプといった定例レクのほか、「おうえんランチ」や紙芝居などの新企画にも積極的に挑戦。その一方で、認知症の入居者様にはコロナ禍による変化が不安を招か

▼手作りボウリングで軽く運動



5/23 スポーツレク

毎月 音楽レク



▲職員がウクレレとギターを演奏

ないように、これまでと変わりにくく接することを心がけています。

感染者が徐々に減り、収束に向けての道筋が見え始めても、気を抜くことなく感染予防に努め、入居者様の穏やかな暮らしを守っていきます。

6/11 おうえんランチ



▲免疫力を高める食材で予防を応援

感染予防の徹底で「コロナに負けるな」
多彩なレクでいきいきと



アウルの四季彩々日記



●4/1 (水)

開設13周年のお祝い

●4/1 (水)

開設13周年のお祝い

コロナ禍により、内々での控えめなお祝いとなった今年の開設記念日でしたが、恒例のお祝い御膳と紅白まんじゅうが、華やかさを演出してくれました。併せて、10年勤続の職員1名の表彰式も行われました。

ひな祭りには歌声朗々と
ひな人形の飾り付けから片付けまで、みんなで楽しむアウルのひな祭り。今年は入居者様のピアノ伴奏で「うれしいひなまつり」を合唱。ちらし寿司のランチの後は、りりこ&ここなも参加して桃の節句をお祝いしました。



●4/28 (火)・5/5 (火)

お花見喫茶、開店

ぎりぎりまで検討した結果、今年はお花見の外出行事を断念。代わりに、中庭の桜を楽しむ茶話会を行いました。季節限定の柳月「春の桜せん」をお供に、ご近所でもきれいと言われたアウルの桜を満喫しました。

